

現場を視察する石井社長(右)



支店は東京ガス発注の工事を専門に受注、施工する支店。当日はガス管理設跡本復旧工事現場で、片側交互通行の狭い施工エリアの中でアスファルト舗装打ち替え工を施工する様子を視察し、災害対策が適切に取られているかなどをチェックした。

パトロールでは重機と人との分離状況、架空線近接作業や重機旋回時の重機オペレーターと誘導員との合図の確認状況、歩行者通路の確保、歩行などを重点的に確認した。現場の社員や協力会社の事業主との意見交換も行い、石井社長は働き方改革や担い手の確保、新型コロナウイルス対策な

ど、就労環境を取り巻く課題などについて職員らの意見を聞いた。
視察後に講評した石井社長は「架空線や隣接する建物が多い条件の中、大型重機を使用して作業しているため公衆災害防止対策が重要だ。バックホウ旋回時もガードマンによる誘導がしっかり行われており、センサーによる緊急時の合図体制も確認した」と現場での対策を評価した。第三者災害への対策では「歩行者や自転車の通行にも配慮し、第三者災害の防止に努めてほしい」と呼び掛けた。

第三者災害の防止を

佐藤渡辺の石井社長
横浜で現場安全パト

佐藤渡辺の石井直孝社長は、施設工事支店神奈川営業所が横浜市で施工する工事現場で安全パトロールを7日に実施した。施設工事

